

■ ご挨拶

理事就任のご挨拶

日本風力発電協会 理事 庄田 邦彦
エコ・パワー株式会社 取締役



はじめに

このたび、総会において当協会の理事を拝命しました庄田 邦彦（しょうだ くにひこ）です。6月24日にエコ・パワー社に着任したばかりではございますが、日本の風力発電事業および当協会の発展に貢献できるよう、皆様のお力添えを頂きながら努力して参る所存です。

東北生まれの東北育ち

父がサラリーマンの転勤族だったことから、福島を皮切りに、山形、宮城、そして再び山形と南東北を転々としてきましたが（小学校は都合3回変わりました）、現在実家は山形市内に落ち着いております。引越しに対する感情は人それぞれでしょうが、当時私の場合は至って能天気です、引越しすればそれだけ友達が増えるという理由で次の行き先がどこになるのか心待ちしておりました。

石油会社に入り

その後、大学入学を機に山形を離れ上京、卒業後コスモ石油（大協石油、当時）に入社し爾来四半世紀あまり、主に石油製品販売と管理部門とを渡り歩いておりましたが、直近二カ年は事業開発部（現、発電・ガス事業部）に籍を置き、非石油事業に携わりました。風力発電事業と接点を持ったのはこの時が初めてでした。

風力発電事業との出会い

2004年、コスモ石油が始めて取り組んだ再生可能エネルギー事業が山形県酒田市に建設した風力発電所であり、今に至るまで事業開発部が直営発電所として運営しております。その後2010年にエコ・パワー社をグループの一員として迎えた際には、風力発電を手掛けていた経緯もあり事業開発部が主管・窓口部署を担当することとなったわけですが、エコ・パワー社が初めて出資・運営に関わった風力発電サイトが、やはり山形県の庄内町である（1996年）ことを

知るに及んで、石油事業従事時には決してなかった、自身と山形とを取り持つ“風の縁”めいたものを感じている次第です。

協会に課せられた責務

今年4月に閣議決定されたエネルギー基本計画においても再生可能エネルギーの導入加速が高らかに謳われる中、分けても風力については将来の更なる経済性確保の可能性が高いことを認めつつも、普及実現のためには解決すべき課題が数多存在していることが言及されています。連系線の強化、環境アセスの精度向上と迅速化の両立、農地転用の運用円滑化等、どの課題をとっても複雑に絡んだ利害関係者との丁寧な対話と相互理解が求められるものばかりですが、これらの課題解決は一事業者の努力では到底なしうる筈もなく、正に風力発電事業のヴァリューチェーンを担う幅広い事業者の皆様方で成り立っている当協会に託された最も重要な責務であろうと思料しております。これまで協会会員として尽力された皆様方のご努力とその成果に敬意を表しますと共に、理事職の末席を仰せ付かった一人として業界全体の健全な発展のため少しでもお役に立てるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。